

平成28年 3月 9日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第4回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成27年度第一部会第4回定例会議は、平成28年2月17日(水)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第4回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区本町3-3-1

主任監査官
入札契約監査官
契約管理官
技術開発調整官

TEL (022) 225-2171 (代表)

佐藤 一男 (内線2114)
岩村 毅 (内線2220)
黒沢 勇 (内線2222)
横山 喜代太 (内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成28年2月17日（水） 東北地方整備局 第三会議室		
委員	部会長 伊東 満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】		
審議対象期間	平成27年10月 1日 ～ 平成27年12月31日		
審議案件	総件数	9件	(別紙-1 審議案件一覧のとおり)
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	3件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	1件	
	事 随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙-2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙-3のとおり		

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	国道7号小森川橋上部工事	鋼橋上部工事	20	19	H27.10.19	川田工業(株)	782,460	89.7	能代

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	北上川月浜第一水門ゲート設備修繕工事	機械設備工事	2	1	H27.10.6	三菱重工業メカトロシステムズ(株)	264,600	97.8	北上川下流
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	浅瀬石川ダム放流制御設備工事	通信設備工事	1	1	H27.11.25	河北通信工業(株)	80,460	99.4	浅瀬石川ダム
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	菅波大橋下部工外工事	一般土木工事	3	1	H27.12.21	(株)森本組	336,852	99.9	磐城国道

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	白川ダム空調設備工事	暖冷房衛生設備工事	23	3	H27.10.1	飯鉢工業(株)	45,066	99.0	最上川ダム統管

入札方式	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	津軽ダム本体建設(第3期)工事	一般土木工事			H27.11.9	津軽ダム本体建設工事安藤ハザマ・西松特定建設工事共同企業体	2,527,200	99.5	津軽ダム

【建設コンサルタント業務】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争入札方式	玉川ダム堤体基礎試験及び解析業務	土木関係建設コンサルタント	1	1	H27.12.18	(株)建設技術研究所	31,860	96.8	玉川ダム

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	酒田管内交通安全施設対策検討業務	土木関係建設コンサルタント	6	5	H27.10.5	(株)オリエンタルコンサルタンツ	29,916	100.0	酒田

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	塩分水温測定機器更新	物品の製造等	1	1	H27.12.11	(株)西衡器製作所	11,178	100.0	高瀬川

別紙-2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 国道7号小森川橋上部工工事	
質問なし	
2 北上川月浜第一水門ゲート設備修繕工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2者が参加申請書を提出し、そのうち1者が不参加となったのは何故か。例えば、ゲート設備のメーカーでないこと等が推測されるが。 ・ 不参加の場合、不参加理由書を提出する法的義務はないのか。 ・ この工事は災害復旧工事か、老朽化による修繕なのか。状況として、未だに業者がなかなか集まらないのか。 ・ 工事内容をみると、油圧ユニット、操作盤の更新となっているが、この機器を造り替えるのであれば、他の会社であっても更新することに問題はないと考えられるが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1者が不参加となった理由は分からない。他のメーカーだと、新たに設置するノウハウが求められるため、難しかったのではないかと推察される。不参加となった業者は、積算をし、採算が合わないと思ったのかかもしれない。 ・ 参加申請をしても入札するまではいつでも辞退する事ができ、その理由は問わないこととなっている。 ・ 災害復旧工事である。入札参加者数の状況は、以前よりは多くなっているが、工種によっては未だに厳しい状況である。 ・ 水門機械は複雑な構造になっており、それぞれのパーツの組み合わせによりひとつのユニットとなっている。
3 浅瀬石川ダム放流制御設備工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ この工事は設備更新を行うものであるが、何か不具合が出ていたのか。また、設備全体を取り替えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信設備工事としては10年程度のサイクルで更新する。全体を取り替える事もあれば、状況を見て一部を取り替えることもある。今回は一部の取り替えである。

<ul style="list-style-type: none"> ・ダム管理に影響のない更新作業が必要とあるが、どのような手順で行うのか。 ・1回目の入札価格と2回目の入札価格の差が1千万円あるが。 ・1回目の入札が不落になった場合、入札後に、どのような形で、入札者に伝えるのか。他の入札者がいることが分かるような伝え方を行っているのか。また、どのように補足説明をしたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流入量の監視、ダムからの放流水の管理をしながら作業を行うほか、ゲート操作のシステム管理を二重化してバックアップするなど、設備の監視機能を付加しながら交換していくことが必要となる。 ・1回目の入札で、予定価格との開差があったため、補足説明を行い、2回目に落札となったものである。 ・予定価格をオーバーした場合は一時保留をかけ、2回目の入札日時を電子入札システム上で連絡する。他の入札参加者の状況は分からない。補足説明は文書で行っている。
<p>4 菅波大橋下部工外工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札業者が、1回目入札から2回目入札時に4千万円を下げ落札しているが、考えられる理由は。 ・入札参加業者をみると、福島県内の業者が1者も入っていない状況だが、どのような理由があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬費の考え方に差異があったので、補足説明を行ったものである。 ・この地域は復興事業が最盛期であり、他機関発注の事業に地元業者がとられている状況である。
<p>5 白川ダム空調設備工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札結果をみると辞退者が多い。山形県内の工事であり、復興事業等による影響は少ないように思われるが如何か。また、この辞退理由は全て同じなのか。 ・この工事は職員が勤務しているなかでの設備更新なので、夜間又は休日に絞って作業するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県内の業者も太平洋側の復興事業に関わっていると考えている。辞退理由については当方では分かりかねる。 ・作業は勤務時間中に行うが、いろいろな調整が必要であり、現場条件に制約があるため、工期も長くなる。そういったことも辞退者が多かった理由のひとつと推察される。
<p>6 津軽ダム本体建設（第3期）工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・1期、2期工事の契約時期は。また、1期工事は何社応札したのか。 ・平成20年から7年経過しているが、諸条件の変化等は契約に勘案されているのか。また、3期工事は何か見直しがあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1期工事の契約は平成20年で、工期は平成20～23年。2期工事は平成24年で、工期は平成24～27年。1期工事は6者が入札に参加した。 ・例えば、東日本大震災の影響による資機材の不足、調達先の変更等、社会情勢の変化があればスライドで見直していく。3期工事は当初の予定どおりである。

<ul style="list-style-type: none"> ・一会計年度で工事発注するのが普通と思うが、大きな工事になると複数年度にわたるものでも、まとめて発注するということがあるのか。 ・随意契約理由書をみると工事の特殊性もあり、また仮設備の設置撤去等も考えると、現実問題として、途中で業者が変わるということは難しいということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国債工事という形で複数年度にわたる契約となっている。国債工事は5年が限度となっている。ダム本体工事は工期が長いので、3期に分けて発注した。 ・工事を一貫した判断により施工を行うことによって、安全や工事品質の確保が図られると考えている。
<p>7 玉川ダム堤体基礎試験及び解析業務</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>8 酒田管内交通安全施設対策検討業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・このような調査を実施して、その後の対策をたてるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。その後も継続調査を実施し、必要があれば追加措置等の取り組みを行う。
<p>9 塩分水温測定機器更新</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格を応札者からの見積りを基に作成したということか。それは積算の基準がないということからか。 ・参考見積りは何者からとっているのか。 ・塩分水温センサーはこの受注者が製造し納めるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準歩掛がない業務のため、複数の業者から参考見積りを徴収し、予定価格を算出した。 ・6者に依頼し、4者から見積りの提出があった。 ・この受注者はメーカー代理店であり、塩分水温センサーの製造は行っていない。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。
今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の厳正な執行を行っていただくようお願いする。

【当局からのコメント】

本日の議事の中で頂きました委員の皆様方からのご意見を参考に、今後の入札・契約業務に反映させていただく。
また、さらなる透明性、競争性の確保に努めて参りたい。